

報道関係者各位

子育て学協会が保育園で開催した講座の参加者750名のアンケート結果

2017年4月～2018年2月の期間に行った11種類の講座で取得したアンケートの一部をご報告します。

NPO法人 子育て学協会(東京都千代田区、代表理事:浦郷美紀)は、会長山本直美が提唱する『発達予防学』に基づき、子どもを取り巻く人的環境の大切さを学ぶ講座を開催しています。今回は、2017年度に保育園で保護者に向けて開催した講座の参加者アンケートを公開いたします。

講座の開催概要

この期間に開催した講座は次の11講座になります。アンケートは次ページに別紙にてまとめます。

- ・『子どもの将来に繋がる躰』
- ・『子どもを取り巻く7つのパイプ人的環境を知って子育てに活かそう』
- ・『自律に向けてできること』
- ・『健全な成長のための言葉かけ「褒め方・叱り方」』
- ・『子育てのためのファミリービルディング～家族をく創る～』
- ・『子育てのためのファミリービルディング』
- ・『パパのためのファミリービルディング』
- ・『復職にあたっての子どもへの接し方のポイント』
- ・『絵本と遊びで育む学ぶ意欲と考える力』
- ・『子どもの可能性を広げる「絵本の時間の作り方」』
- ・『「自ら伸びる力」を育むために親として知っておきたいこと』

※東京12ヶ所、名古屋5ヶ所の保育園で、各3回ずつ開催しました。(各回約15名の参加)

全講座の基礎となる「子育て学講座」について

<目的>

子育てに頑張るパパママが、自分たちらしい子育てを楽しみ、「子育てを通じて大人も育つ」、「育ち合う家族」をつくっていくための講座です。

<対象>

乳幼児を子育て中のパパ・ママはもちろん、プレママ・パパ、妊婦さん、孫育て中のおばあさま&おじいさま、子育てにご興味のある方、子どもに関わるお仕事をしている方

<全6回のタイトル>

- ①「子どものらしさの育み方」～子どもの<遊び>～
- ②「子どものしつけと心の整え方」～子どもの<基盤>～
- ③「ストレスを減らして子育てを楽しむ」～自分の<基盤>～
- ④「子どもとの関係性の作り方」～子どもとの<対話>～
- ⑤「子どもの個性を理解する」～子どもの<徳性>～
- ⑥「これだけは知っておきたい子育てのポイント」～家族を<楽しむ>～

子育て学協会および 「子育て学講座」について

当協会は、これまで幼児教室を通じて20年以上に渡り親子を見守ってきました。そのなかから得られた知見を、発達予防学(思春期・青年期に問題を起こさないための、予防的観点での子育てについての学び)として、「子育て学講座」や個別コンサルティング活動を通じて、広くお伝えする活動を行っております。「子育て学講座」は、家族や人生について見つけ直すだけでなく、人の育ちの原理を知ることにも繋がります。子育て中のパパママのみにとどまらず、人材育成やチームビルディングにも活かせる内容です。

～「子育て学講座」は、2014年キッズデザイン賞を受賞しております～

※審査委員コメントより

親子関係のOSとも呼ぶべきコンテンツであり、ノウハウのみに偏らない情報が有益。ガイドブック化を検討して欲しいほど、子育てに 向き合う層には重要な内容である。当たり前のことが当たり前に通じない現代において、社会ニーズがある。



本件に関するお問い合わせ先

NPO法人 子育て学協会 浦郷美紀、佐野佑希子

Tel: 03-6265-4930 E-mail: info@kosodategaku.jp

ホームページ: <http://kosodategaku.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/kosodategaku/>

報道関係者各位

2017年4月～2018年2月に開催した子育て学協会の 保育園保護者向け講座アンケート結果①(一部抜粋)

『子どもの将来に繋がる躰』講座でのアンケート結果

- 「面倒で真剣に遊んでいなかった事を思い、今後は10分でも思いっきり子どもと遊びたいと思いました。自分のハードルが高いのはいつも思っていました、少し下げようと思いました。」
- 「具体例が多く、また今日から実践できるヒントを沢山いただくことが出来たと思います。年齢による変化も多い時期なので、年齢に特化したお話もまたうかがってみたいです。」
- 「子どもに自分でルールを作らせて、それを守らせるようにする、というのが目からウロコでした。躰と言うのは何度も繰り返し、言い聞かせて当たり前、というのも安心しました。」

『子どもを取り巻く7つのパイプ人的環境を知って子育てに活かそう』講座でのアンケート結果

- 「環境の影響が子どもに大きい印象は持っていましたが、具体的な事例をお聞きできたのでとてもよく理解できました。もっと意識して子どもに接したいと思います。」
- 「大人の基盤のところは、今の自分は小さいころの環境によって作られていることを知って、幸いなことに主人と補えるところがありそうなので思いやりを持って一緒に子育てしていきたいと思いました。」
- 「複数のパイプがあることによって心が安定する、自分自身にあてはめても確かに”あの時別のパイプがあれば・・・”と思うことができました。日々忙しさにかまけて狭くなりがちですが、意識的にパイプを広く増やしていきたいと思いました。」

『自律に向けてできること』講座でのアンケート結果

- 「とても有意義な時間でした。初めて知ることや、なるほどと思うことも沢山ありましたが、何より昔はそういう考えでいたはずなのに、いつの間にか日々の忙しさにかまけて実践できていなかったなあ、と反省しました。気づかせていただいて感謝しています。特に”言葉かけ”の部分などは最近できていなかったことがあり、早速本日より実践しようと思いました。」

『健全な成長のための言葉かけ「褒め方・叱り方」』講座でのアンケート結果

- 「子どもを躰ようとするのではなく、自分の日々の生活を気持ちよく、健やかに過ごすことを心掛けて、それを子どもにも伝えていきたいと思いました。毎日同じことで叱って怒っているのは、ルールがなかったからだ気づかされました。」
- 「子どもへの意識付けの重要性を知る事ができて良かったです。もっと具体的に”言葉にする”事を意識して、褒めてあげたいと思います。また怒ると叱るの違いが、色々な視点から解説して頂けて、非常に分かりやすく為になりました。」
- 「子どもの”無自覚”と言うところに自分が全く気づけておらず、一番はっとさせられました。今までの子育て、正直本日のNGワードに触れてしまう部分が多く、猛反省するばかりですが、講師の「今日一つでも変えれば子どもは気づく」という言葉を励みに、少しずつ親子が変わっていったらと思います。」

『子育てのためのファミリービルディング～家族を創る～』講座でのアンケート結果

- 「意外と夫婦間でのコミュニケーションが取れていないかなあと思いました。まずは自分の気持ちを伝えることから始めようと思いました。」
- 「パパの心理・ママの心理の違いが面白かったです。夫婦で聞くことができて良かったと思います。」

『子育てのためのファミリービルディング』講座でのアンケート結果

- 「言語力がとても大切だということがあったので、子どもにもそういう対話をしていきたいと思います。」
- 「パパにこの話しを聞いてもらえて良かったです。女の人の考えと、男の人の考え方の違いが上手く伝えられずすれ違うことも多々あったりするので、聞いてもらえてよかった。対話を大切にしなければ、いつも思うものの、うまくできていないのが現状で「対話」を心に留めながら日々過ごそうと思います。」
- 「子どもに求める前に、自分が言葉を丁寧に使うように心掛けようと思います。「あきらめ」から「受入れ」に変えます。」
- 「今日家を出る時に子ども達に「今日勉強して優しいママになって帰ってくるね」と言ったのですが、今から家に帰ったら、優しく家族に接することができそうです。」

～「子育て学講座」は、2014年キッズデザイン賞を受賞しております～

※審査委員コメントより

親子関係のOSとも呼ぶべきコンテンツであり、ノウハウのみに偏らない情報が有益。ガイドブック化を検討して欲しいほど、子育てに 向き合う層には重要な内容である。当たりのことが当たり前に通じない現代において、社会ニーズがある。



本件に関するお問い合わせ先

NPO法人 子育て学協会 浦郷美紀、佐野佑希子

Tel: 03-6265-4930 E-mail: info@kosodategaku.jp

ホームページ: <http://kosodategaku.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/kosodategaku/>

報道関係者各位

2017年4月～2018年2月に開催した子育て学協会の 保育園保護者向け講座アンケート結果②(一部抜粋)

『パパのためのファミリービルディング』講座でのアンケート結果

「参加されているお父さん方はそれぞれどこまで家事ができるか、活かそうかを日々考えていることがわかった。また、私が考えるよりも家事をしており、前向きに家族形成をしようとしているように思った。父だからその悩みもまだ他に何があるのか、興味が沸いた。」

「それぞれの家族で状況は違うが、共通するものも多かったように思う。またどのような行動が必要かということを改めて感じさせていただいた。年に数回、気づきの為にも今後も参加したいと思います。」

「腹落ちする内容でした。子どもと大人の違いと、夫と妻の違いは何となく理解していたつもりでしたが、体系的に示してもらったことで気づきがありました。同じ内容をママ会でやった時の皆さんのリアクションが気になります。」

『復職にあたっての子どもへの接し方のポイント』講座でのアンケート結果

「具体的な例が多くて、とても分かりやすかったです。自分の中で大切にしようと思うことが見えて着きました。」

「小さい時期は今しかないと思うと、少し焦る気持ちもありますが、子どもの自分らしさを伸ばすには見守ってあげたりする時間が大事なのだなと思い、少し気持ちに余裕ができました。」

『絵本と遊びで育む学ぶ意欲と考える力』講座でのアンケート結果

「経験・体験のない子どもには、概念や価値観がないという点は改めて確かに、と思いました。私達にとっては当たり前のことでも、子どもが色々と想像して学んでいけるように、今後は意識して物事を説明、伝えていけたらと思います。」

「絵本を読んであげることは子どもの教育に良いと聞いていましたが、その理由が今日のお話からよくわかりました。子どもがまだ小さい為、実際に本を読んであげる日が来るのは少し先かなと思っています。そのときに今日聞いた話を思い出して、意識しながら実践していきたいと考えています。」

「絵本の世界と実際の体験を結びつけることと、子どもの可能性を引き出す対話は特に役立ちそうです。絵本から広げて、様々な体験を試してみたいです。普段「じょうず」や「すごいね」を多用していたので、具体的にほめたり質問したりしたいと思っています。絵本を何度も読ませられて大変と思っていましたが、探究心が育まれているのだと思うと読んであげようと思いました。」

『子どもの可能性を広げる「絵本の時間の作り方」』講座でのアンケート結果

「人同士の会話で安全な場所が少ない、というのは確かにそのとおりだなと思い、子どもの思考を広げられる環境を作っていきたいと強く思いました。」

「上の子2人が大きくなった今、15年前にお話をうかがえればよかったなあ・・・知らないことは罪ですね。考える力を伸ばすには親としてやるべきことがあり、その方法が今日わかってよかったです。すぐに活かしたいと思います。3番目はもちろん、上の二人にもしっかり認め続けることを忘れないように努力します。」

「絵本を通じて、子どもが想像力・コミュニケーション力・集中力をつけることができるのだと改めて気付くことができました。今後はなるべく沢山絵本の読み聞かせを行おうと思います。」

『「自ら伸びる力」を育むために親として知っておきたいこと』講座でのアンケート結果

「男の子なので、感情を言葉で引き出すことを今後も意識したい。親である自分達自信を振り返る良い機会になるので、定期的に開催して頂きたい。」

「上の子に対して感情的になることが多く、後でいつも後悔してしまうのですが講座を受けて、接し方を変えなければいけないと思いました。今の時期が一番大事だということを改めて気付かされました。今後に活かしていきたいと思います。」

「自律チェック表を主人とも時々確認しつつ、子育ての一つの指針としたいと思います。2歳を前にして、そろそろイヤイヤ期かな、と思う場面も出てきました。親が自らそれをやる、子どもの声を聞く、一緒にやるを意識していきたいと思います。」

「乳幼児期の大人の関わりの大切さを改めて感じる良い機会となった。子どもの興味・探求にしっかり目を向け、一緒に楽しみながらその子を伸ばしていき、大切に芽を育てていきたい。」

～「子育て学講座」は、2014年キッズデザイン賞を受賞しております～

※審査委員コメントより

親子関係のOSとも呼ぶべきコンテンツであり、ノウハウのみに偏らない情報が有益。

ガイドブック化を検討して欲しいほど、子育てに 向き合う層には重要な内容である。

当たり前のことが当たり前に通じない現代において、社会ニーズがある。



本件に関するお問い合わせ先

NPO法人 子育て学協会 浦郷美紀、佐野佑希子

Tel: 03-6265-4930 E-mail: info@kosodategaku.jp

ホームページ: <http://kosodategaku.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/kosodategaku/>